



GEM通信

だれもが
個性や能力を生かして
自分らしく暮らせる
地域社会を創るために…

No. 29

2021年8月発行

NPO 法人 男女平等参画推進みなと / Gender Equality of Minato (GEM) URL : <https://gemminato.com>

2021年度港区男女平等参画センター助成事業(ジャンプ) 〈2021年6月12日・13日・19日・20日開催〉

DV 被害者の支援者養成講座

長引くコロナ禍でDVや性暴力、女性や子どもへの虐待が急増、2020年度のDV相談件数は前年の1.6倍で過去最多を記録しています(内閣府発表)。DVや虐待は見えにくく、相談窓口にも繋がりにくいため、支援に関わる現場の適切な対応が求められています。そのような状況下、支援者養成講座を6月に開催。「NPO法人女性ネット Saya-Saya」の協力を得て、同女性ネットの松本和子さん、波多野律子さん、佐藤浩子さんを講師に迎えて実施しました。

■ 講座は「抑圧理論」「性暴力」「DV」「トラウマ」「法律関係」「アドボカシー・クライシス」「危機介入」「子どもへの虐待」「高齢者・障がいを持つ人々」「加害者」「多文化社会におけるDV」の11のプログラムで構成。当事者に寄り添う支援者としての基礎を体系的に学びました。日常にある組織的・制度的な虐待(暴力・搾取・差別・偏見等)がDVの温床となっていること、支配とコントロールの構造、被害者の心的症状への理解、社会の根強い偏見、法律の課題(DVを犯罪と規

定し警察・裁判所が被害者支援の側に立つ必要性)、DVが子どもに及ぼす影響など多岐にわたる切り口で学びを深めました。支援者として「本人の決定を尊重し的確な情報を提供する」「相談の背景に潜む危機の確認を怠らない」という基本姿勢を認識し、最終日には受講生12名が修了証を受授、今後も支援に関わる決意を新たにしました。

■ 相談者にはDV被害を自覚している人ばかりではありません。相談者自身の抱えている苦しさはなぜかわからず、誰かに聴いてもらいたいと相談してくる人が少なくありません。そのため初期段階でDV・虐待の存在に気づき、その相談者に次の相談機会を逃さず繋いでいくことが必要です。あらゆる機関、施設において、相談や支援に関わる人がDVの基本を理解し、連携していく支援体制づくりが欠かせないことを改めて痛感した講座でした。



「サポートグループ オリーブ」って何をするといい?



- GEMでは「DVのサポートグループ オリーブ(以下SG)」を、年に2クール実施しています。SGは、夫や恋人からの暴力(DV)などを経験した女性が、同じような経験をした女性たちと出会い、その経験を自由に語り、聴くことで、多くの共感や学びを得ることができる場です。グループの持つ力によって、自分らしさを取り戻し、本来持っている力に気づき、回復に寄与する社会資源です。
- DV被害女性は、夫から「お前が悪いから暴力を振るわれる」と言われ、周囲からは「あなたのやり方が悪いんじゃないの」と言われ、追い詰められがちです。SGの中で女性たちは「自分が悪いのではなく、暴力を振るう側が悪いのだ」という気づきを得、自己肯定感を持てるようになります。「自分だけでなかった」と孤立感から抜け出し、前向きになれます。なおSGでは専門性のあるファシリテーター(進行役)が寄り添い、安心安全な場を作るとともに、ストレングス視点(その人が持つ力を引き出すこと)に留意して肯定的支持的な対応をします。
- DVは、一言で表現すると「力と支配」です。優位な関係にある人が、相手を自分の思うように支配するために振るう暴力です。被害者は圧倒的に女性という実態は、単に家庭内の問題でなく、その根底にあるジェンダー不平等社会に起因する社会構造的な問題であり、そういう認識を参加者が深めていくことにも努めています。日本ではまだグループ支援を実施している場が少なく、もっと多くのSGができると良いと思っています。☆関心のある方はHP〈<https://gemminato.com>〉のお問合せフォームからご連絡ください。

ほっとすぺーす Olive

がリニューアルしました!

GEMの「ほっとすぺーす Olive」(以下 Olive)は、生きづらさを抱える女性たちをエンパワーするための安全・安心な「女性たちの居場所」です。このたび日本フィランソピー協会の寄付を受けてリニューアルし、新しい居場所が完成しました。



▲リニューアルした Olive

◆「Olive」はモヤモヤした思いを語り合ったり、情報交換し合ったりしながら、社会への一歩を踏み出すための準備に利用いただいています。自分を受け止めてくれる仲間がいると、心も穏やかになり安心して繋がります。思いを共有することで、その背景にある社会のジェンダーの課題に気づきます。そして、生きづらさの原因や理由が、自分自身のせいではないと理解できると気持ちが楽になります。居場所を得て、信頼できる人たちとの繋がりができれば、「自分は独りじゃない、何とか頑張ろう」と思えます。穏やかな日常の中で自分らしい生き方を模索し歩み始める女性たち—そのプロセスを垣間見ることは、私たち GEM の活動の大きな励みでもあり、リニューアルした居場所が今後さらに女性たちの支えになることを願っています。

◆「Olive」の居場所事業は、昨年度に引き続き中央ろうきん“カナエルチカラ”の助成を受けて進めていきます。4月から現在まで、緊急事態宣言の発出や延長など、不安定な社会状況の中での活動となりましたが、オンラインと対面でしゃべり場・カフェ工房などを開催。こんな時だからこそ、自分らしくいられる「居場所」を見つけた女性たちで「Olive」はいつも賑わっています。



6月ランチ会



カフェ工房にて制作中



カフェ工房で作ったクッション

昨年来、コロナ禍の影響で居場所に来ることが難しくなった人や、不安による過度のストレスで参加しづらくなった人たちに、今後は参加できるよう工夫していきます。



●居場所事業(中央ろうきん助成)の盾をいただく柴田理事長(左)と松尾事務局長



今後の活動予定

- 女性たちの居場所
(しゃべり場・カフェ工房・PC教室・ドロップイン・字てがみなど)
 - 秋のサポートグループ ●親子レク、お楽しみ会
 - 男女平等参画フェスタ in リーブラ (講座・展示) ほか
- * 詳細は毎月の予定表や開催ちらし、HPなどで案内

理事長交代のお知らせ

6月より理事長に就任した柴田美代子と申します。女子の健やかな成長を祈る雛祭り生まれで、女子に生まれたことが自由な生き方を狭めることがない社会への思いは強く、前理事長と同様にはなかなかできませんが、頑張ります。(柴田)

SNS 相談

誰にも相談できない

さびしくてつらい

DV や虐待で傷つき、生きづらさを抱えている女性たちの気持ちに寄り添う GEM のチャット相談です。お気軽にご利用ください。

- 相談日時 毎週水曜日 13:00~17:00
- 対象 東京都在住・在勤・在学の女性
- 相談方法 [GEM ホームページで案内](#)

☆スマホは QR コードから、パソコンは HP のバナーから入ります。

